



アオクサカメムシ
Nezara antennata Scott
羽根の基部あたりは黒色～黒藍色である。ほぼ腹部の半分は黒い。

ミナミアオカメムシ
Nezara viridula (Linnaeus)
羽根の基部あたりは緑色である。ほぼ体色と同じ色をしている。ただし、越冬色になり始めると、少し赤みを帯びてくることがある。

ツヤアオカメムシ
Glucias subpunctatus (Walker)
羽根の基部あたりは赤色～うす紅色である。ほぼ腹部の半分は紅く見える。

アオクサカメムシ
Nezara antennata Scott
先端から3節の色は黒色～黒褐色。

ミナミアオカメムシ
Nezara viridula (Linnaeus)
先端から3節の色は褐色。

ツヤアオカメムシ
Glucias subpunctatus (Walker)
先端から3節の色は褐色。

背中の色

触角の色

ダイズ、イネ、果樹類の主要害虫であるアオカメ3種の見分けるのは、野外では難しく、防除対策上問題になることが多いようです。近年、三重県内において、**ミナミアオカメムシ**の生息地域の北上が観察されています。ミナミアオカメムシはダイズの主要害虫である**アオクサカメムシ**と近い仲間ですが、イネに対する嗜好性が強く、今後、イネへの加害が懸念されます。また、果樹カメムシ類として重要害虫である**ツヤアオカメムシ**は県南部での発生が中心でしたが、中北勢地域でも増加傾向にあります。そこで、慣れるまで区別が難しいアオカメ3種について、虫眼鏡（ルーペ）を使う程度で、なるべく簡単に、確実に、野外で区別できるように、その違いを解説します。

3種のカメムシの区別点



アオクサカメムシ
Nezara antennata Scott
小循環上部には白い3つの斑紋がある。体色はツヤのない緑色である。体型はミナミアオと比較するとやや四角い感じがする。

ミナミアオカメムシ
Nezara viridula (Linnaeus)
小循環上部には白い3つの斑紋がある。体色はツヤのない緑色である。体型はアオクサと比較するとやや縦長に見える。

ツヤアオカメムシ
Glucias subpunctatus (Walker)
小循環下部に2つの白い斑紋がある。上部には斑紋がない。健全な個体の体色はツヤのある緑色である。他2種と比べて明らかに光沢が強い。

アオクサカメムシ
Nezara antennata Scott

ミナミアオカメムシ
Nezara viridula (Linnaeus)

ツヤアオカメムシ
Glucias subpunctatus (Walker)

腹部各節先端は黒く、その少し内側に黒点がある。

腹部各節先端は黒いが、その内側各節には黒点がない。まれに濃緑色の点が並ぶことがある。

腹部各節先端は黒いが、その内側各節には黒点はない。

腹側の黒点

